

【議案第 4 号】

令和 6 年度 NPO 法人北海道遺産協議会事業計画（案）

北海道遺産の持続可能な保全・活用に向けた長期ビジョン(2016 策定)

	短期(2016~2017年)	中期(2018~2020年)	長期(2021~2025年)	以降
I 人材育成	人材育成プログラムの検討 ・大学等との連携	「北海道遺産ラボ」開始 ・各地域で遺産の保全・活用を担う人材の育成 ・選定地域の方、こうした取組みに関心を持つ学生等を対象 ・遺産所在地における実地研修等	遺産に関わる人・組織の増加	地域が主体となった北海道遺産の持続可能な保全・活用による北海道の活性化
II 遺産の価値向上・発信	追加選定等の方法の検討 日本遺産への申請支援 「北海道ヘリテージウィーク」開始 北海道遺産フォトコンテスト ・幅広い世代での認知度向上 ・地域遺産保全に関わる団体との連携強化 Webサイト、アプリを活用したPR	追加選定の実施(2018年) ・北海道命名150年 ・新たな枠組みでの北海道遺産構想のスタート	遺産の認知度向上・ブランド化	
III 支援のしくみの構築	金融機関等との連携を視野に入れた支援の枠組みの検討 正会員・サポーターの増加 収益事業の強化 事務局・地域支援体制の強化	金融機関・企業等との連携による地域遺産保全・活用支援制度の創設((仮)北海道ヘリテージファンド)	持続可能な支援の仕組み構築	

<令和 6 年度のポイント>

- 「北海道遺産」の価値向上・発信  
「北海道遺産」のネットワークを生かした遺産地域への周遊促進や、様々な媒体を活用した情報発信を行うことで、北海道遺産の価値向上と地域での北海道遺産の活用を促進する。
- 担い手との連携強化  
過年度に行ってきた担い手連携事業などを通じて、協議会が保有している資料等が各地で活用される事例が多くなっている。今年度も担い手連携事業をはじめとする、「北海道遺産ネットワーク」づくりを促進する。北海道遺産の将来構想の検討などにおいても、各地の担い手の「かかわりしろ」をもった事業展開を図り、地域の現状を踏まえた北海道遺産構想の推進を行う。
- 社会連携の強化  
昨年度に引き続き、様々な分野の企業・団体等と連携して、担い手の活動支援へと繋がる社会連携の強化を図る。

※今年度事業も、新型コロナウイルスの状況により都度実施の可否を検討する

## <令和6年度事業（案）>

### （1）遺産の価値向上・発信

#### 1）クリプトン・フューチャー・メディア(株)と連携した情報発信（7月1日～通年）

北海道遺産を巡る「デジタルスタンプラリー」（JAF スタンプラリー連携）や、例年実施している、フォトコンテストをブラッシュアップし SNS 活用を意識した「北海道遺産フォト&短歌チャレンジ」を実施する。また、スタンプラリーやコンテストをはじめとする北海道遺産協議会の情報を北海道の情報発信メディア「Domingo」を活用して発信し、幅広い層への展開を積極的に行う。

○3,000 千円[普]

#### 2）BunkazaiDesignContest2024 の実施（10月～3月）

デザイナー・クリエイターの創造的思考により、地域遺産や文化財の新しい見え方・デザインを提案してもらうことで、地域遺産や文化財の魅力をより多くの世代に身近に感じてもらうことを目的として、今年度もデザインコンテストを実施する。また、昨年度のコンテストの入賞作を製品化し、土産店や遺産地域施設などでの販売を目指す。

○800 千円[普]

#### 3）北海道遺産交流会議の実施（11月）

助成金活動の報告会を兼ねて、遺産地域団体の交流と情報交換の場として「北海道遺産交流会議（北海道遺産サミット）」を実施する。

○900 千円[地] ※場合によりオンラインも想定

#### 4）北海道ヘリテージウィーク 2024 の実施（11月10日）

北海道遺産を多くの人々に周知する機会として、今年度も札幌駅前通地下歩行空間で各地の北海道遺産や助成金活動紹介パネル、フォトコンテスト入選作品等の展示、また、担い手の希望があれば地域活動 PR ブースの設置を行い地域の発信の場として活用していただく。

○1,000 千円[普]

#### 5）シーニックバイウェイ推進協議会（事務局：開発局）との連携事業（通年）

包括連携協定を結んでいるシーニックバイウェイ推進協議会と連携し、双方の地域の担い手の取組の活性化や人的ネットワークづくり、地域活動の周知、道の駅との連携などを行う。

○100 千円[普]

#### 6）北海道遺産「食プロジェクト」（随時）

「食」の分野で親和性の高い企業等との連携により、食のストーリーを絡めた新たな角度から北海道遺産の魅力や価値を発信する。

○50 千円[普]

#### 7）web 等での情報発信と管理運営（通年）

北海道遺産協議会のホームページ、公式 facebook ページ、Instagram、X などの媒体での北海道遺産の発信・管理運営を行う。

○200 千円[普]

## 8) 会員サービス（随時）

協議会の活動情報、地域の行事情報などを掲載する手づくりのニュースレター「北海道遺産だより」を発行（年 2 回程度）、正会員・賛助会員・関係者等に送付する。会員への年次特典として、昨年度の、「Bunkazai Design Contest2023」の入賞作品を活用したトートバッグを制作し、暮らしの中でも北海道遺産を感じていただく機会とする。

○300 千円[普]

## 9) その他 PR（随時）

例年実施している北海道庁 1 階での展示や、イオンモール札幌発寒での 10 月 13 日の「北海道遺産の日（どーいさんのひ）」イベントなど、効果的な情報発信の機会をとらえて適宜実施する。昨年度も実施した北海道遺産ラッピングバス活用事業についても、北海道中央バス様のご協力を得て引き続き実施することで動く広告としての効果を期待したい。また、新たな取組として、ラジオ局・FM アップルで毎週放送されている「北海道歴史探訪」の番組内で北海道遺産情報の発信を行い幅広い層への情報発信を行う。パンフレットの増刷は適宜行い各遺産地域での配布に積極的に活用する。

○2,000 千円[普]

## (2) 支援の仕組みの構築

### 1) 「ほっかいどう遺産 WAON」助成活動支援（7 月～）

「ほっかいどう遺産 WAON」の寄付金を活用して、北海道遺産所在地域における遺産保全・活用事業を募集し、総額 880 万円（50 万円以内/数件）の活動に対する助成を行う。

今年度は寄附金感謝状贈呈式を北海道遺産の日（10 月 13 日）と連携させ、イオンモール札幌発寒で実施予定。

○9,100 千円[地]※イオンモール札幌発寒での感謝状贈呈式予算含む

### 2) 「お茶で北海道を美しくキャンペーン」助成活動支援（7 月～）

「お茶で北海道を美しくキャンペーン」寄付金による、各地域への助成（総額 80 万円）を実施。北海道遺産の環境・景観の保全活動に対して助成する。

○800 千円[保]

### 3) 持続可能な支援の仕組み検討（通年）

過年度に検討を予定していた、「北海道遺産学」「北海道遺産マイスター」「北海道遺産アンバサダー」を含む担い手育成、子どもたちへの普及活動などについては将来にわたる総合的なビジョンを作成する中で検討する。ビジョン作成のための担い手との情報共有・交流の取組として、各地で意見交換等を行う「ブロック会議」を行う。

○600 千円[地]

### 4) 会員拡大（随時）

会員入会促進のために、理事および事務局が積極的に地域に展開する。

○100 千円[普]

### **(3) 人材育成**

#### **1) オープンラボ（随時）**

昨年度に引き続き、地域遺産に関わる人々との学び合い、知識の共有の場としてセミナーを年度内2回程度実施する。

○120 千円[地]

#### **2) 担い手ネットワーク構築（7月～3月）**

遺産地域のネットワークづくりの機会として、各地の担い手にご協力いただき、北海道遺産パネルを各地に巡回させ PR する巡回展を行う。過去の入選作品が各地の担い手の展示に活用いただく機会が増加しているため、写真マットの交換など保管している入選作品の補修を行う。

○450 千円[地]

### **(4) その他事業**

#### **◆理事会・総会の開催**

定期総会（年1回）を実施する。理事会については必要に応じて実施する。

○300 千円[そ]